

■施策（案）検討書

【強み】 (Strength)	【機会】 (Opportunity)	【弱み】 (Weakness)	【脅威】 (Threat)	解決策の方向性（案）
<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光の導入ポテンシャルが高い。 ・村民の再エネの利用促進への理解度が高い。 ・村全体に必要な取り組みとして、住民、事業者ともに、「再生可能エネルギーの導入」が最多意見となっている。（アンケート：住民 16.7%、事業者 14.4%） ・次世代型の太陽光パネルなど新技術の開発が進んでいる。 ・施設園芸農家が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再エネの導入にあたっては自然環境との調和が求められる。 ・太陽光パネル処理、廃棄等に関する不安（記述式） ・冬季は寒冷な地域であるため化石由来燃料の消費量が多い。 ・村民に対する再エネ・省エネ設備の導入補助など情報が不足。 ・大規模震災の発生時のライフラインの確保など備えが課題。 ・世界情勢に影響されるエネルギー供給の不安定化。 ・年間の日平均気温は上昇傾向であり地球温暖化が進行、脱炭素の必要性。 	<p>屋根乗せ太陽光発電・太陽熱利用の普及</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・建物系太陽光発電の普及（ソーラーカーポート含） ・行政施設から再生エネ施設の設置推進。 ・太陽光パネルの廃棄等に関する情報含む情報発信 ・（自然環境と調和した土地系太陽光発電の検討） 	
<ul style="list-style-type: none"> ・農業が盛んで地域の強味である。 ・村民の地球温暖化に対する関心度が高い。 ・複数の農家が営農型太陽光発電に興味を示している。 ・農業従事者の約 40%が営農型太陽光発電を進めた方がいいと回答。 ・村全体に必要な取り組みとして、住民、事業者ともに、「再生可能エネルギーの導入」が最多意見となっている。（アンケート：住民 16.7%、事業者 14.4%） ・美しい村（アンケート記述回答） ・第5次原村総合計画では、地域の環境を守る方策が設定され環境・景観を守る意識が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再エネの導入にあたっては自然環境との調和が求められる。 ・農業従事者の減少（特に高齢者）農業生産年齢人口が減少。 ・生産年齢人口の減少による担い手不足、地域の活力低下。 ・農業による温室効果ガス排出量が多い。 ・気候変動の影響による農作物への被害が懸念される。 ・次世代太陽電池（ペロブスカイト）の導入については、安全性を含めて十分に検討する必要がある。 ・営農型太陽光発電は収穫量が減ることを懸念。 ・営農型太陽光発電に対する肯定的意見と同程度に「どちらとも言えない」、「よくわからない」という意見もある。（アンケート：43.34%） ・年間の日平均気温は上昇傾向であり地球温暖化が進行、脱炭素の必要性。 	<p>カーボンニュートラル農業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・GX 技術の導入：（環境に配慮した技術の導入）グリーントランスフォーメーション ① 再生可能エネルギーの導入 ② エネルギー効率の向上 ③ カーボンニュートラルに向けた農業形態の転換 ・営農型太陽光発電の導入については条例や景観も含め検討は必要 ・EV 車、再エネ機器などの導入検討 ・ビニールハウス等への太陽光発電両面透過型パネル、稼働型パネル等の導入検討 ・化石燃料ボイラーから木質バイオマスボイラーへの導入検討 ・林業との連携（木質バイオマスボイラーへの燃料供給） ・（化石燃料を使って作られる）化学肥料の減量 ・農業の脱炭素経営や脱炭素技術に関する情報発信 	
<ul style="list-style-type: none"> ・農業や畜産が地域の強みである。 ・施設園芸農家が多い。 ・森林の多面的機能の維持が推進される。 ・美しい村（アンケート記述回答） ・森林の保全 ・村民の地球温暖化に対する関心度が高い。 ・村全体に必要な取り組みとして、住民、事業者ともに、「再生可能エネルギーの導入」が最多意見となっている。（アンケート：住民 16.7%、事業者 14.4%） ・住民、事業者ともに森林整備を望 	<ul style="list-style-type: none"> ・林業従事者の減少（特に高齢者）林業生産年齢人口が減少。 ・生産年齢人口の減少による担い手不足、地域の活力低下。 ・森林の適切な整備が遅れている。 ・個人所有の森林が多い ・林業の労働力確保 ・採算性の確保（木材としての供給、その端材のバイオマス利用） ・村民に対する再エネ・省エネ設備の導入補助など情報が不足。 ・気候変動の影響と考えられる自然災害が激甚化している。（山の荒廃） 	<p>バイオマス利用の促進 （再生可能エネルギー）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林資源の最大限の活用 ・森林資源を活用した木質バイオマス利用 ・農畜産業による残さバイオマス利用 ・農業との連携（木質バイオマス燃料の供給） ・省エネルギー機器の普及 ・省エネルギー活動の推進 ・脱炭素に関する情報発信 ・補助金情報の集約化 ・情報発信の強化 	

<p>む声多数（アンケート：住民 16.7%、事業者 14.1%）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・森林地域への新築建物の増加、環境への影響（アンケート記述式） ・冬季は寒冷な地域であるため化石由来燃料の消費量が多い。 ・大規模震災の発生時のライフラインの確保など備えが課題。 ・世界情勢に影響されるエネルギー供給の不安定化。 ・年間の日平均気温は上昇傾向であり地球温暖化が進行、脱炭素の必要性。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域レジリエンスの強化（森林保全から災害を抑制）
<ul style="list-style-type: none"> ・再エネ、省エネ設備の導入補助制度がある。 ・村全体に必要な取り組みとして、住民、事業者ともに、「再生可能エネルギーの導入」が最多意見となっている。（住民 16.7%、事業者 14.4%） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化対策への関心については、世代間で温度差がある。 ・30代以上では関心があると答えた人の割合は80%以上。一方、20代以下は関心がないと答えた人の割合が他の世代に比べて高い。（アンケート：10代：21.43%、20代：40.00%）また関心がないと答えた学生での割合が高い。（37.38%） ・村民に対する再エネ・省エネ設備の導入補助など情報が不足。 ・各個人レベルですぐできる省エネ行動等の知識不足（アンケート記述式） 	<p>脱炭素に関する普及啓発（情報発信）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱炭素に関する更なる普及啓発 ・特に若年層への環境意識の醸成 ・中学校等での書エネワークショップを通じた意識醸成（地域団体等との連携）
<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏や中京圏からのアクセスが車で3時間程度と良好。 ・山岳や高原観光が盛ん。 ・暮らしやすい環境づくりによる移住者の流入や若い世代のUターンなどを通じて、地域の活力向上が期待されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車利用による温室効果ガス排出量が多い ・公共交通の利便性 ・次世代自動車化に向けたインフラ整備の遅れ ・公共交通の利便性が課題である。 ・世代自動車化に向けたインフラ整備が遅れている。 	<p>次世代EV自動車への転換（交通手段を通じた脱炭素）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の利便性向上 ・次世代自動車への転換 ・化石燃料自動車の流入抑制 ・EV車インフラ整備による観光誘致
<ul style="list-style-type: none"> ・施設園芸農家が多い。 ・再エネ、省エネ設備の導入補助制度がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・寒冷な地域のため化石由来燃料の消費量が多い。 ・各個人レベルですぐできる省エネ行動等の知識不足（アンケート記述式） 	<p>省エネルギーの普及推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・省エネルギー機器の普及 ・省エネルギー活動の推進 ・個人レベルの省エネ行動に関する情報発信
<ul style="list-style-type: none"> ・美しい自然環境と清涼な気候で別荘地として知名度が高く移住者が増加している。 ・暮らしやすい環境づくりによる移住者の流入や若い世代のUターンなどを通じて、地域の活力向上が期待されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・寒冷な地域のため化石由来燃料の消費量が多い。 ・世界情勢に影響されるエネルギー供給の不安定化 ・年間の日平均気温が上昇傾向。 ・各個人レベルですぐできる省エネ行動等の知識不足（アンケート記述式） 	<p>ZEB・ZEHの推進（ゼロエネルギービル・ゼロエネルギーハウス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ZEB（省エネビル）・ZEH（省エネ住宅）の推進 ・快適に暮らすための既存住宅の断熱改修の検討